

上部工の架設工事を行います

神門通り線2工区では、宇迦橋の老朽化に伴う架け替え工事を進めています。令和6年4月より、橋の本体となる上部工の工事を行っています。引き続き、安全・安心に工事を進めて参りますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

上部工ってなに？

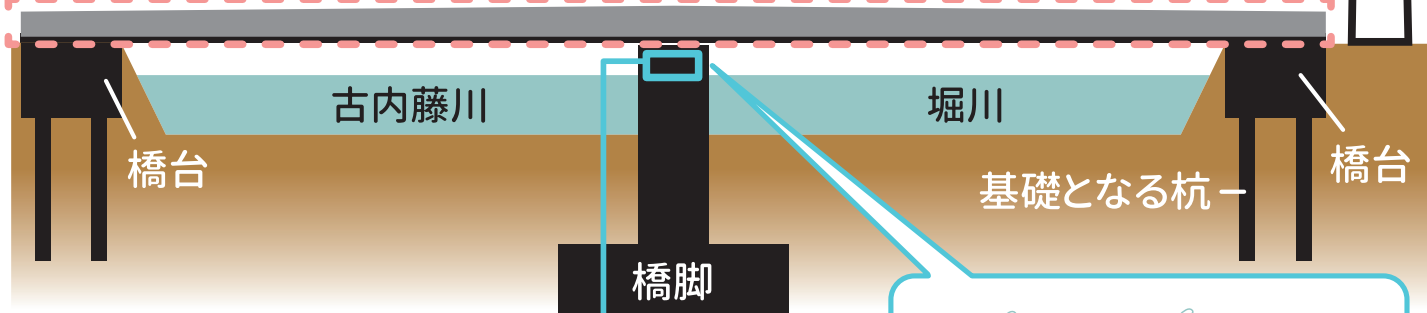
上部工とは、橋の本体となる部分で、橋台と橋脚の間をまたぐ橋桁や床版などのことです。

上部工

橋桁

床版

大鳥居



どんな工事をするの？

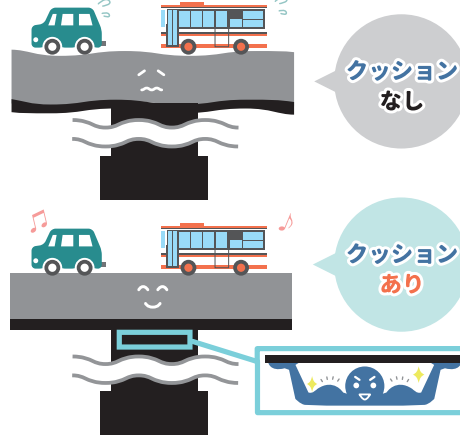
1. 上部工を支えるクッションになる部材を設置します

橋桁が温度により伸び縮みしたり、車が通ることによって橋がたわむのを受け取るためのものです。

2. 1で設置したクッションの上に上部工を設置します



▲上部工を支えるクッションになる部材を設置する様子 (北条高架橋の工事)



どんな車両で工事するの？

大きくて重たい資材を運ぶため、大型クレーン車などを使って安全に配慮しながら工事をしていきます。

上部工の架設工事業者より



この度、島根県出雲県土整備事務所より宇迦橋上部工工事（橋梁本体部分）を受注し施工を行います極東興和株式会社です。工事中は、大型機械、大型車両が頻繁に出入りするため、なにかとご不便・ご迷惑をお掛けするかとはい思いますが、安全第一に努め早期完成を目指し工事を進めたいと思っておりますので、ご理解とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

上部工工事受注業者：極東興和株式会社 工期：令和6年3月1日～令和6年10月28日





上部工の架設工事が終了したら、橋の手すりとなる高欄を設置します。高欄を設置した後は、神門通り線1工区と同様に石畳の舗装を行います。神門通り線1工区では、実際に使用する石畳の裏にメッセージを記入するイベントも開催し、多くの方にご参加いただきました。

石畳へのメッセージ記入イベントの様子



神門通りの過去と未来を体感できる「神門通りPRブース」開設中!

今回、神門通りの成り立ちやこれまでに開催したワークショップ、宇迦橋の完成イメージなどのポスターを展示した「神門通りPRブース」を設置いたしました。ぜひお越しください。



▲展示イメージ
(H26年の展示の様子)

場所 道の駅大社ご縁広場

期間 令和6年
5月1日(水)~11月28日(木)

時間 9:00~18:00

料金 無料



展示内容

サイネージ

神門通りの歴史や工事に関する動画を投影

ポスター展示

神門通りの歴史や宇迦橋の完成イメージ、現在の工事に関するポスターを展示

神門通り
ニューズレター・かわら版

神門通りの整備にあたり、発行してきたニューズレターやかわら版の全号を展示



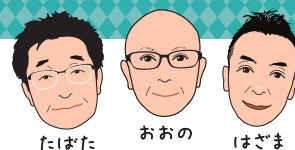
出雲県土整備事務所 都市整備課からのメッセージ

出雲平野の田を渡る風が気持ちの良い季節となり、神門通りはゴールデンウィークも多くの観光客でにぎわったところです。

さて、神門通り線2工区では今年4月中旬から夜間工事(電線共同溝工事【県】、上水道工事【市】)を行っており、周辺住民・店舗の皆さまにはご迷惑をおかけしております。

また、今後は上部工工事が本格的に動き出すこととなり、夏頃からは上部工工事と並行して宇迦橋南側の電線共同溝工事を進めていく予定ですので、引き続き工事へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

よろしく
お願いします!



たはた おおの はざま